

編集 後記

年度末を迎え、会員の皆様はご多用な日々をお過ごしのことと存じます。3月にお届けする60巻3号には、4本の研究ノートを掲載しています。特定健康診査未受診者の特性、小学生の生活習慣、世代間交流事業への社会的関心、地方感染症情報センター担当者の研修プログラムと、いずれも社会的な課題に着眼した、学術的にも実践的にも有用な論文です。しかしながら、本号では、原著や公衆衛生活動報告の掲載はありませんでした。毎年秋に開催される学会では1000本以上の発表があり、学術的、実践的な研究について、質と量ともに充実した討論が展開されています。これらの学会発表について、発表での討論も含めて整理して執筆し、ぜひ本学会誌にご投稿ください。本学会誌は毎月発行されているためタイムリーな掲載が可能であること、公衆衛生という多様な分野での討論ができる場であることなどが、強みであり魅力のある点です。編集委員会でも、より建設的で有意義な査読の過程となるように取り組んでいます。今後も多くのご投稿をお待ちしています。(斉藤恵美子)

次号予告 (第60巻・第4号)

公衆衛生活動報告

地域住民の主体的な介護予防活動推進のための取組「介護予防リーダー養成講座」の評価

.....河合 恒, 他

研究ノート

Evaluation of strategies for control and prevention of pandemic influenza (H1N1pdm) in Japanese children attending school in a rural town
Simulation using mathematical models

.....佐藤友紀, 他

妊娠判明後のパートナーの喫煙行動の変化と関連要因

.....瀬戸朋弥, 他

東日本大震災被災者健康調査の質問票における身体活動関連項目の妥当性および再現性の検討

.....村上晴香, 他

地域在住の自立高齢女性における体力と抑うつ状態との関連

.....山縣恵美, 他